

特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会
第30回総会 議事録

1. 日 時 2022年3月25日（金） 午後3時30分～午後4時15分
2. 場 所 日本ワールドゲームズ協会
東京都港区赤坂一丁目2番2号 公益財団法人笹川スポーツ財団内
※Web会議システムによる開催
3. 出席者 (Web会議システムによる出席団体：26団体)
[正会員] 18/26団体
合気会
全日本アーチェリー連盟
日本サーフィン連盟
日本水上スキー・ウエイクボード連盟
日本水中スポーツ連盟
日本スカッシュ協会
日本相撲連盟
日本ソフトボール協会
日本ダンススポーツ連盟
日本パワーリフティング協会
日本ビリヤード協会
日本フライングディスク協会
日本フロアボール連盟
日本ペタンク・ブール連盟
日本ライフセービング協会
日本ラクロス協会
ワールドスケートジャパン
笹川スポーツ財団
[準会員] 8/13団体
日本アメリカンフットボール協会
日本エアロビック連盟
全日本空道連盟
日本ゲートボール連合
日本健康麻将協会
国際スポーツチャンバラ協会
日本ドラゴンボート協会
日本マウンテンバイク協会

(委任状提出：12 団体)

[正会員] 4/26 団体

全日本空手道連盟
日本ハンドボール協会
日本武術太極拳連盟
日本ボディビル・フィットネス連盟

[準会員] 5/13 団体

日本アームレスリング連盟
日本オーケーゴルフ協会
日本ソフトテニス連盟
日本ダーツ協会
日本モーターサイクルスポーツ協会

[支援会員] 3/4 団体

東京スカイダイビングクラブ
全日本フルコンタクト空手道連盟
日本レクリエーション協会

(欠席：5 団体 1 名)

[正会員] 4/26 団体

日本キャスティング協会
日本山岳・スポーツクライミング協会
全日本柔術連盟
全日本ボウリング協会

[支援会員] 1/4 団体

日本スポーツカイロプラクティック連盟

[支援会員] 1 名

伊佐和敏

(出席役員) 赤木 恭平 (会 長)

渡邊 一利 (副 会 長)

師岡 文男 (執行理事)

吉澤 俊治 (執行理事)

宮城島眞知子 (理 事)

川地 政夫 (監 事)

寺尾 靖世 (監 事)

4. 事務局 古坂具巳、成瀬小太郎

5. 議 事

審議事項 第1号議案 2022年度事業報告(案)及び決算報告(案)について

報告事項 ①第11回ワールドゲームズ大会について

②JWGA加盟予定団体について

6. 議事の経過

(1) 開会及び議長の選出

事務局より、本総会は Web 会議システムにより開催し、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっており、出席者が一堂に会することと同等の相互に十分な議論を行うことができる環境である旨、出席者全員により確認した。

赤木会長の挨拶後、事務局から本総会の議長選出については、定款第 25 条により総会に出席した正会員の中から選出する旨述べ、笹川スポーツ財団の渡邊一利氏（当協会副会長）を議長に選出し、議案の審議に移った。

(2) 総会成立の確認

事務局は、議決権を有する会員総数 43 団体及び 1 名のうち、本人出席 26 団体、定款第 28 条第 2 項及び第 3 項による出席 12 団体であり、定款第 26 条に規定する定足数は満たされており、本総会は有効に成立している旨、確認した。

(3) 議事録署名人の選任

議長は、本総会の議事録署名人について、定款第 29 条第 2 項に基づき、次の 2 名を選任した。

日本ソフトボール協会	久下知宏
日本サーフィン連盟	関口嘉雄

(4) 第 1 号議案 2022 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

議長は、本議案について事務局に説明を求め、配付資料に基づき説明を行った。

尚、2022 年度の事業計画及び収支予算については、本年 1 月申請済のスポーツ振興くじ助成金（toto 及び基金）の審査結果（本年 4 月下旬頃）並びに 2021 年度の決算（次期繰越正味財産額等）を踏まえ、本年 6 月開催予定の理事会及び総会にて第一次補正として再度諮るものとした旨、説明した。

議長は本議案について質疑応答を促したところ、師岡執行理事より、本年 4 月 30 日に日本スポーツ学会で 40 分間ワールドゲームズの講演の機会をいただき、内容は 6 月発行のスポーツゴジラ（冊子）に掲載予定であること。また、各団体においてメディア等に取り上げられた際は JWGA まで共有いただき、JWGA 全体としてワールドゲームズの認知度を高めるための広報展開ができればと思われる旨、説明があった。

議長は本議案について採決に入り、全員異議なく可決承認した。

(5) 報告事項

①第 11 回ワールドゲームズ大会について

(1)IWGA 関連（師岡執行理事）

- ・2028 年ロサンゼルスオリンピックの追加競技の調査に IOC バッハ会長及び関係者らが大会を視察予定

- ・第11回大会の選手・役員の登録締切りは3月31日、変更は5月31日までであれば何回でも可
- ・本年5月にロシア・エカテリンブルグで開催予定であったが、ウクライナ侵攻の関係でスペイン・マドリードにて5月19日に変更となった。ハイブリッドによる開催。会議には2025年の第12回大会開催地である中国・成都の組織委員会も参加予定

(2)アンチ・ドーピング関連（吉澤執行理事）

- ・大会参加競技団体に対し、JWGAより以下を記した依頼文を発信予定
 - 1) JADA（日本アンチ・ドーピング機構）未加盟団体への加入推奨
 - 2) JADAへのアンチ・ドーピングに関する最新情報の確認・連携
 - 3) IFからのアンチ・ドーピング情報に関するJWGAへの共有
- ※JADA未加盟団体
日本ラクロス協会。本年4月上旬を目途に加盟手続きを行う予定

(3)日本からの参加予定選手数（事務局）

- ・本年2月25日時点で22競技、選手・監督・コーチは総勢216名。今後変更も生じるであろうが概ね220名前後を想定している。

(4)日本代表ウェア関連（事務局）

- （ファイテン株式会社支給によるジャージ上下、ポロシャツのデザインを紹介）
- ・ウェアにはIWGAと大会ロゴを入れたためIWGA及び大会組織委員会に対し、事前に確認し、承諾を得ている。

② JWGA加盟予定団体について

大会参加に伴い、新たに日本体操協会、日本カヌー協会、日本トライアスロン連合、日本航空協会が新規加盟の予定（検討中）。助成金等の関係もあることから加盟する場合は本年4月下旬までに手続きをお願いしたい旨、各団体と連絡を取り合っている。

(6) 閉会

以上をもって議案の審議等を終了したので、午後4時15分、議長は閉会を宣し、解散した。尚、開会から閉会まで通信状況に問題は無く、終始出席者全員が議論に参加できる状況であった。

以上、議事に相違ないことを証するため、次に署名押印する。

2022年3月25日

議 長

Ⓜ

署 名 人

Ⓜ

署 名 人

Ⓜ
